



CSCドメイン名破棄 フレームワーク:

ストップ - レビュー - アクション





CSCドメイン名破棄フレームワーク:



ストップ



レビュー



アクション

CSC はお客様の最も大切な資産を保護しコンプライアンスを遵守するため、ドメイン名失効ポリシーを策定しています。廃止したいと考えるドメイン名の確認に多くの企業が時間を費やしている一方で、十分な情報に基づく判断ができない場合も少なくありません。CSC は、お客様の選択肢や破棄した場合のセキュリティリスクについて、お客様に十分理解いただくことが当社の義務と考えております。

お客様がこういった難しい判断を適切に下せるよう、当社は 3 段階の戦略計画を策定しました: **ストップ - レビュー - アクション**





ストップ

お客様が慌ててドメイン名を破棄しないよう確認します。ドメインを急いで、それも大量に破棄しようとする、重要なドメインまでうっかり破棄してしまうことが必ずあります。そのため CSC は一旦作業をストップし、本当に破棄してもよいドメインと、破棄すると潜在的な脅威になりかねないドメイン名を確認するようお勧めしています。

ドメイン名を破棄する前に、ドメインプロバイダー

に必ず徹底した分析調査を依頼してください。CSC は継続的にすべての破棄を確認し、潜在的な脅威を見つけ出し、リスクを低減しています。

ドメイン名を破棄する場合は、事前にあらゆる潜在的なリスクを把握するようにしてください:

- ✔ **フィッシング** - フィッシング攻撃にドメイン名を使う場合も、会社のブランド名が含まれていると詐欺の成功率が高くなります。
- ✔ **ブランド悪用** - 損害につながりかねない偽サイトに顧客を誘導するためにドメイン名が使われることがあります
- ✔ **ドメイン投機** - ブランドの所有者がドメインを取り戻す必要がある場合、法的手段は購入よりもずっと時間がかかります
- ✔ **電子メール傍受** - 電子メールが復元するだけで、詐欺師がそれらのアドレスに送られたメールを見ることができます。
- ✔ **ウェブサイトや電子メール停止** - サブドメインや電子メールの運用だけに使われているドメインもあります
- ✔ **詐欺** - 詐欺師によりドメインが再設定され、クレジットカード情報の盗難や、以前の電子メールアカウントへのアクセスに悪用されることがあります
- ✔ **収益の損失** - ポートフォリオには売却することで利益を得られる貴重な資産が含まれているかもしれません



レビュー

CSC は、今後もまだ価値があると思われるドメインが破棄されないよう、徹底したドメイン分析調査をお勧めしています。

徹底分析調査の内容:

ゾーンのチェック

- ✓ MX レコード
- ✓ DNS セキュリティ拡張機能 (DNSSEC)
- ✓ 送信ドメイン認証 (DMARC)
- ✓ TXT レコード
- ✓ 送信ドメイン認証 (SPF)
- ✓ 送信ドメイン認証 (DKIM)
- ✓ 有効なデジタル証明書

ブランドのチェック

- ✓ 主なブランドとの一致
- ✓ 商標ポートフォリオ
- ✓ 拡張子 (国別)

トラフィック分析

- ✓ DNS クエリ
- ✓ アレクサランキング

価値分析

- ✓ ドメイン名の価値

分析した価値は、推奨レビュー、オプショナルレビュー、アクションなしという3つのカテゴリーに区分されます。レビューが完了すると、破棄を検討中のドメイン名に関して、情報に基づく判断が可能になります。





アクション

確認が完了したら、破棄を開始する前にあといくつかお勧めするステップがあります。



社内の以下の主要部門にリストを展開する。IT、セキュリティ、法務、およびマーケティング。これらの部門は特定のドメインを維持したい理由があるかもしれません。たとえば、IT部門は、部外には分からない特定の理由で特定のドメインを使用しており（部内用途、サブドメインに利用など）、廃棄できない場合もあります。法務部門は、ドメインをポートフォリオに取り込む結果となった、以前に提出した執行措置を認識している場合があります。セキュリティ部門は、フィッシングのリスクを軽減するためにドメインの健全な防御リストを保持している可能性があり、マーケティング部門は今後数か月以内に新規サイトの立ち上げを計画している可能性があります。



ゾーンファイルから詳細なデータをすべて削除する。メールアドレスに使用していたり、サブドメインでサイトをホストしているドメインの場合は、ゾーンファイルの削除により、ドメインを破棄して復旧に時間と労力を費やすことになる前に、この点に注意が必要です。



リストをレジストラへ送り、破棄を依頼する。



ドメイン監視ツールを導入する。監視により、第三者による登録をチェックし、ブランドが悪用される前に検知し防止することができます。

いつでもご説明いたします。

ご質問がある場合やドメイン名廃棄方針に関して CSC がお手伝いできることがあれば <https://www.cscdb.com/jp/contact-us/> までお問い合わせください。



CSC は企業向けドメイン名、DNS、デジタル証明書管理、デジタルブランド保護・ネット詐欺防止サービスのプロバイダとして、フォーブス誌「グローバル 2000」や「世界で最も価値の高いブランド 100 社」[®]に名を連ねる多くの企業に選ばれています。世界的企業の数々がセキュリティ体制に多額の投資をしている中、CSC はセキュリティの盲点を突き止め、ドメイン名、DNS、デジタル証明書を安全に維持するお手伝いをしています。CSC は独自のセキュリティソリューションを活用することで、企業をオンライン資産を狙う脅威から保護し、大規模な収益の損失、ブランドの評判失墜、EU 一般データ保護規則 (GDPR) などの規制による多額の罰金を防ぎます。当社は、オンラインブランド監視と保護活動を組み合わせたオンラインブランド保護、そしてフィッシング対策として詐欺からの保護サービスと共に、デジタル資産保護に向けた総合的なアプローチを採用して、保護サービスを展開しています。